佐々町立佐々中学校　学校だより(HP)
「ときめき」

第 26 号　令和4年3月 10 日(木)　文責　校長　井上博之

※学校 HP のブログにも日々のトピックスを掲載しておりますので、ご覧ください。

○　学校評価アンケートの結果と今後の取組について（その１）

生徒・保護者・教職員を対象として実施した令和 3 年度　学校評価アンケートの結果（1 回目と 2 回目）と今後の学校改善についてお知らせいたします。

【生徒アンケートの結果】

※HP 用では結果一覧は掲載しておりません（学校だよりをご覧ください）

① 全項目の平均値は前期→3.5、後期→3.6（+0.1）
② 全体評価で高い項目（3.8 以上）はNo.4,8,18,19
③ 全体評価で低い項目（3.2 以下）は、No.3,7,16
④ 学年間で見ると差が大きい（差が 0.5 以上）項目は、No.3,7,10

※表中の数値の意味：それぞれの質問項目について 4 件法（4.よくあてはまる=4 点、3.だいたいあてはまる=3 点、2.あまりあてはまらない=2 点、1.全くあてはまらない=1 点）で回答、それぞれの点数×回答者数を、全回答者数で割った値（全員が 4.と回答→4.0、全員が 1.と回答→1.0）となります。

① 全項目、全学年の平均値から全体的な回答状況を見ると、学校生活について真面目に取り組んでいる生徒が多いと考えられます。前期→3.5、後期→3.6　肯定的な回答＝「よくあてはまる」または、「だいたいあてはまる」と回答した生徒の割合は前期、後期ともに全体の約 92%となりました。

② 全体評価で、特に評価が高い項目（3.8 以上）は、No.4,8,18,19

No.4「2 分前着席」は、各学級の学習部が中心となって始業前着席や授業準備、黙想の呼びかけを続けている成果が大きいと思います。

No.8「いじめはしていない」No.18「学校のきまりを守る」は共により良い仲間づくりと集団生活の基本となる項目です。今後も継続して生徒の意識を高めていきたいと思います。

No.19「専門部の係活動」はNo.4 と同様に他の係活動～生徒会活動も活発に機能していることの成果だと考えます。

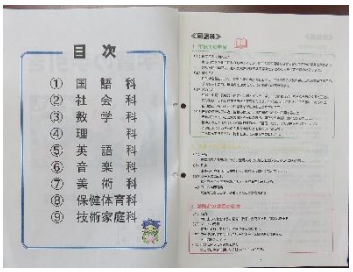
全体的に評価の高い項目は学校の強みとして、継続して生徒の意識を高め、諸活動に取り組ませていきたいと考えています。

③ 全体評価で低い項目（3.2 以下） は、No.3,7,16

No.3「各教科の学習の仕方」については各学年ともに低く、特に 2 年生は 2.9 という結果でした。これまでの定期テストや実力テスト等の結果、各授業の様子からも、本校では、学習意欲と学力の差が各学年共通の大きな課題と言えます。各教科の学習の仕方については年度当初に教科担任がそれぞれ指導、説明しています。しかし、それでも学習の仕

方が分からないと感じている生徒が少なくないという実態が明らかになりました。

そこで、今年度は、各教科の学習の仕方について教科部会で確認し、改めてＡ４サイズで小冊子にまとめ、1月の標準テストの結果（個人票）の返却とタイミングを合わせて配布し、指導しています。また、年度が替わるごとに見直し、継続的に活用を進めていく予定です。



No.7「進路目標と実現に向けた努力」は1,2年生の評価が低く、3年との差もありますが、進路学習を進めることで、後期は前期よりも向上しています。各学年の発達段階に合わせて高校進学だけでなく、キャリア教育の視点で学習を進めていくことが大切だと考えています。

No.16「体力向上」については、感染症対策の影響による部活動停止が大きいと考えています。その対策として、体育では毎時間の4分間走を続けており、基礎体力の向上と健康維持に役立っていると考えています。

評価が低い項目にはそれぞれその要因があると考えられます。要因を多角的に広い視野で分析し、改善ポイントを明確にして教育環境も含めた効果的な対応を実践したいと考えています。

④　学年間で見ると差が大きい（差が0.5以上）項目は、No.3,7,10

No.3,7は前述のとおり。No.10「TGK（立ち止まって,元気よく,心をこめた）あいさつ」については2年生が1.3年より低くなりました。4月に比べて全体的には挨拶は向上している印象がありますが、明るく元気のある2年生なので、その持ち味をあいさつでも生かしていけるよう、指導を続けていきます。

※　学校だよりNo.27　教職員、保護者アンケートの結果に続く